

2026年
4/12(日)
13:30~16:00
(13:00 開場)



大久野島 長浦毒ガス貯蔵庫跡

ヒロシマ、ABC兵器をめぐって —原爆被害と毒ガス加害—

場所：広島平和記念資料館 地下1階会議室1 参加費：500円 ※事前申し込み不要

<プログラム>

**講演「今なお残る毒ガスの爪痕
～禁止条約でも消せぬ戦争責任」**

講師：辰巳知二

ジャーナリスト、共同通信元編集委員、元中国総局長。著書に「隠されてきた『ヒロシマ』—毒ガス島からの告発」（1993年、日本評論社）

報告「軍都・軍港と西瀬戸内海の戦争遺跡」

講師：佐田尾信作

ジャーナリスト、日本ペンクラブ会員、1957年出雲市生まれ。広島を拠点に取材活動45年。現在は中国新聞社客員編集委員、宮本常一記念館運営協議委員、広島民俗学会理事、日本ペンクラブ会員。近著に「陸戦隊と暁部隊 ヒロシマの秘史を追う」（集英社新書）

提案：出原恵三

戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表

被爆、戦争体験を直接語れる人が少なくなっていく一方で、世界では、強者が軍事力を使って弱者を犠牲にしていく状況が続いています。そのなかで、被害・加害の両面をもつ戦争遺跡を保存し、そこから学ぶ重要性が高まっていると思います。

2019年、世界最大級被爆建物の旧陸軍被服支廠倉庫解体案が出た時に、戦争遺跡保存全国ネットワークは解体反対署名活動に協力し、その縁で戦争遺跡保存全国ネットワーク・広島が発足しました。加害の歴史も示す旧陸軍被服支廠では防毒マスクも製造していました。今回のミニシンポジウムでは昨年末の大久野島での開催に続き、毒ガス加害についてさらに学びを深めます。また、西瀬戸内海地域の戦争遺跡についても学び、ヒロシマで加害の歴史を繰り返さないために保存の在り方について意見交換をしたいと思います。ぜひ多くの方の参加をお願いします。



大久野島 毒ガス資料館

問い合わせ先：多賀俊介（戦争遺跡保存全国ネットワーク・広島）
携帯電話：090-6432-5054 Email：taga.s@do2.enjoy.ne.jp